



# レイナ川内 レディースサッカークラブ

レイナ川内の「ロゴ」は、薩摩川内市に根付いていきたいという思いで、市の鳥「メジロ」、市の花「カノコユリ」、市の木「クロガネモチ」とサッカーボールをモチーフに描かれています。



レイナ川内の「レイナ」とは、スペイン語で「女王」の意。女子サッカー界の女王を目指すことから名付けられました。2008年に華麗なパスサッカーでヨーロッパ1位になったスペイン代表にあやかり、プレイする人、応援する人ともに楽しいと思ってもらえるサッカーをしたいという思いと、日本語では、女の子の名前にあたる「れいな」が親しみやすく覚えてもらいやすいということから、地域にしっかり根付いて親しんでほしいという思いが込められています。



▲キャプテン井上瑛瑠奈さんのポジションは、センターバックで、アグレッシブかつ貪欲にボールを奪いに行くプレーが特徴。川内商工高校2年生ながらレイナの歴史を一番知る一人。人間性も良く、周りに気遣いもできる素晴らしい選手です。(監督談)

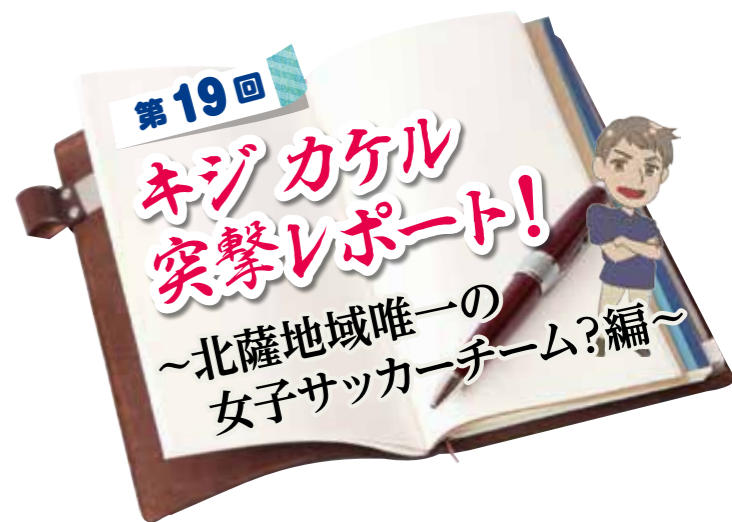


**プレイヤーだけではなく  
両親や兄弟たちの  
サポートや絆が力に**

学生を中心としたレイナは、練習場所にそれぞれで集合することも難しいため、家族による送迎のサポートや支援は必須。  
また、メンバー13人だけでは、試合形式の練習さえも難しいので、兄弟たちや保護者がサポートメンバーとしてフィールドに入り、彼女たちを強力にバックアップします。レイナはまさに家族の絆を支えられたチームなのです。



薩摩川内市に北薩地域唯一の中学生以上の女子サッカーチームとして活動するクラブがあると聞きまして。なんでもその監督は、地域を愛するとても熱い男だという噂が。そして今回、このチームの後援会が発足したという噂も。一体どんなチームなんだろう？  
これは取材してみなくっちゃ。



調べてみるとレイナ川内の監督は、本市に勤務する若きリーダー山口純さん(33)。  
取材交渉をすると、天辰町にある三堂公園で練習をするとのこと。しかもその日は、発足した後援会から贈呈を受けたマイクロバスの引渡し式もあるそう。  
これはチャンスと早速当日、現地に向いました。  
まずは、山口さんの熱い思いに耳を傾けます。  
**願うのは  
鹿児島県女子サッカーの  
発展と薩摩川内市の活性化**  
これまで、北薩地区には中学生以上の女子だけで活動するサッカー部やクラブがなく、高校に上がると同時に引退や他の部活動に移行するというのが普通でした。  
女子サッカーを続けたいけどできない環境にある現場の声をずっと聞いていました。  
この現状をなんとかしたいという思いで2016年に立ち上げたのがレイナです。  
市内の学校と連携を図ることで一貫指導によりチームも強化され、地元に残ってサッカーを続けられる選択肢ができる。  
それがひいては、若者の流出を防ぎ、明るい未来へと活性化されていくと考えています。



◀監督といってもベンチに座っているだけではありません。冷静にフィールドを見渡しながら、時には檄を飛ばし、時にはフィールドプレイヤーとして彼女たちの前に高い壁となって立ちはだかります。



レイナ川内  
レディースサッカークラブ監督  
**山口 純さん**



**レイナ川内というチーム**  
現在のレイナ川内のメンバー構成は、中学生から社会人までの13人。チーム理念は、サッカーを通じた社会貢献などにより、地域に根差し、多くの方々に愛されるチームを目指すこと。そして、勝利に向かって常にひた向きに最後まで諦めない姿を見せ、夢と感動を共有すること。  
長い時間を一緒に過ごし、プレーとコミュニケーションを長く続けることで分かり合える、仲の良さがレイナ最大の武器です。